

新病院整備事業費に関する 債務負担行為の見直しについて

— 新病院の実施設計の進捗状況を踏まえて —



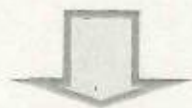
平成25年10月17日

桑名市

地方独立行政法人桑名市総合医療センター

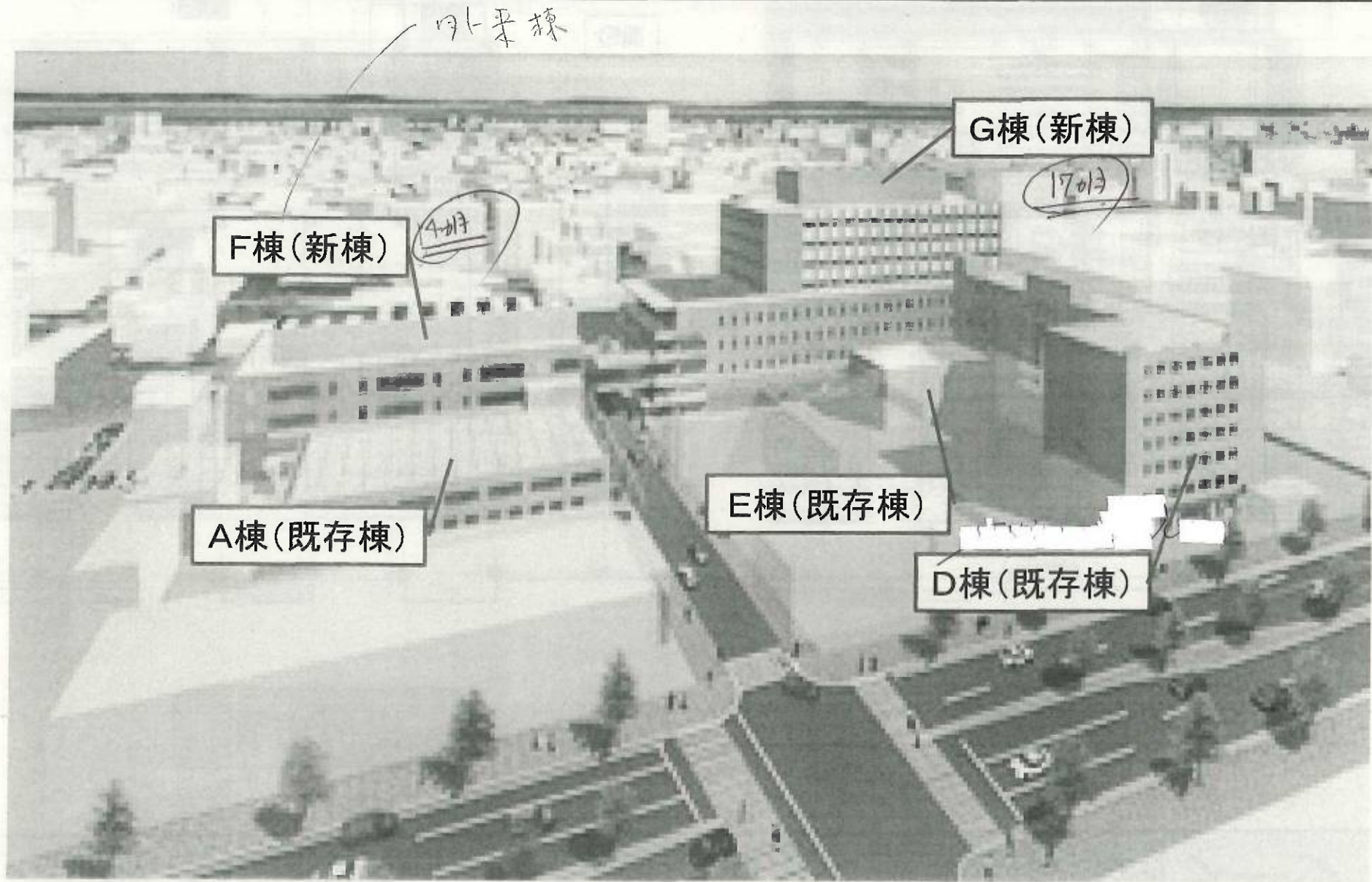
新病院整備事業費に関する債務負担行為の見直しの趣旨

- 新病院整備事業費については、現行の平成25年度予算では、債務負担行為を平成25～26年度の2か年に設定しています。
- 先般、新病院の実施設計を中間的に取りまとめたところによると、新病院整備事業のすべてを平成26年度中に完了することは、困難となりました。



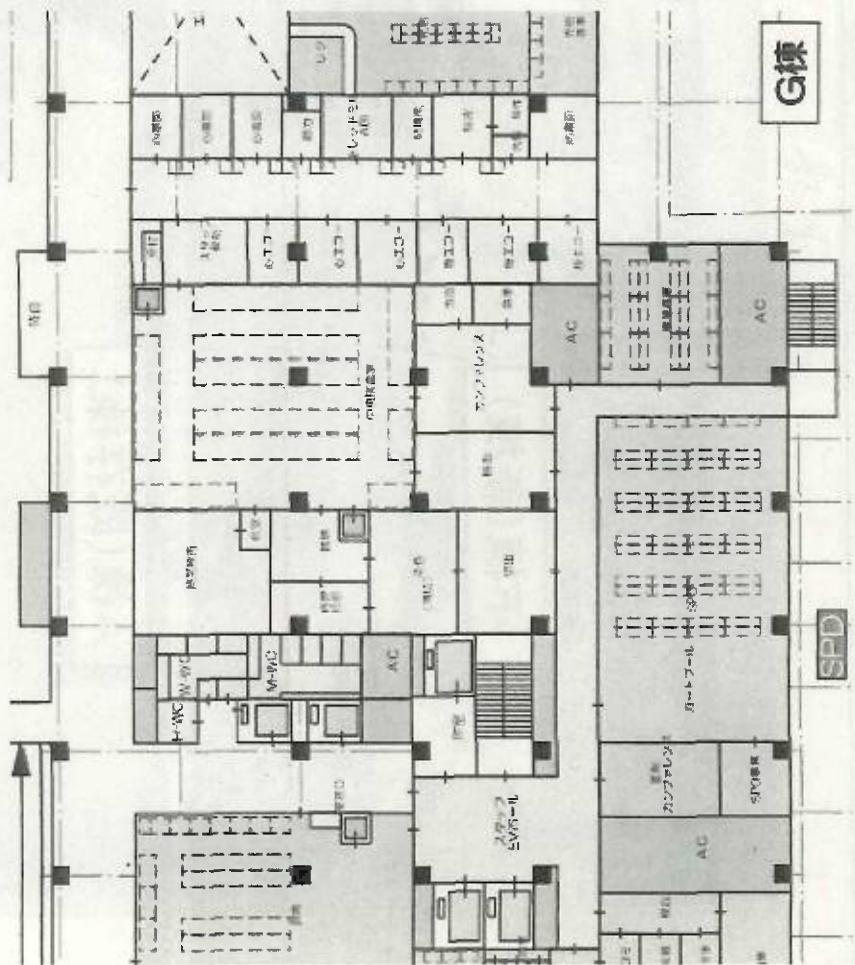
- 今後、新棟の新築に関する入札を実施する前提として、新病院整備事業費に関する債務負担行為を平成25～27年度の3か年に見直すことが必要となりました。
- 今般、センターの要請を受けて、市より、市議会に対し、必要な議案の審議をお願いしなければなりません。

【参考1】新病院の基本設計のイメージ

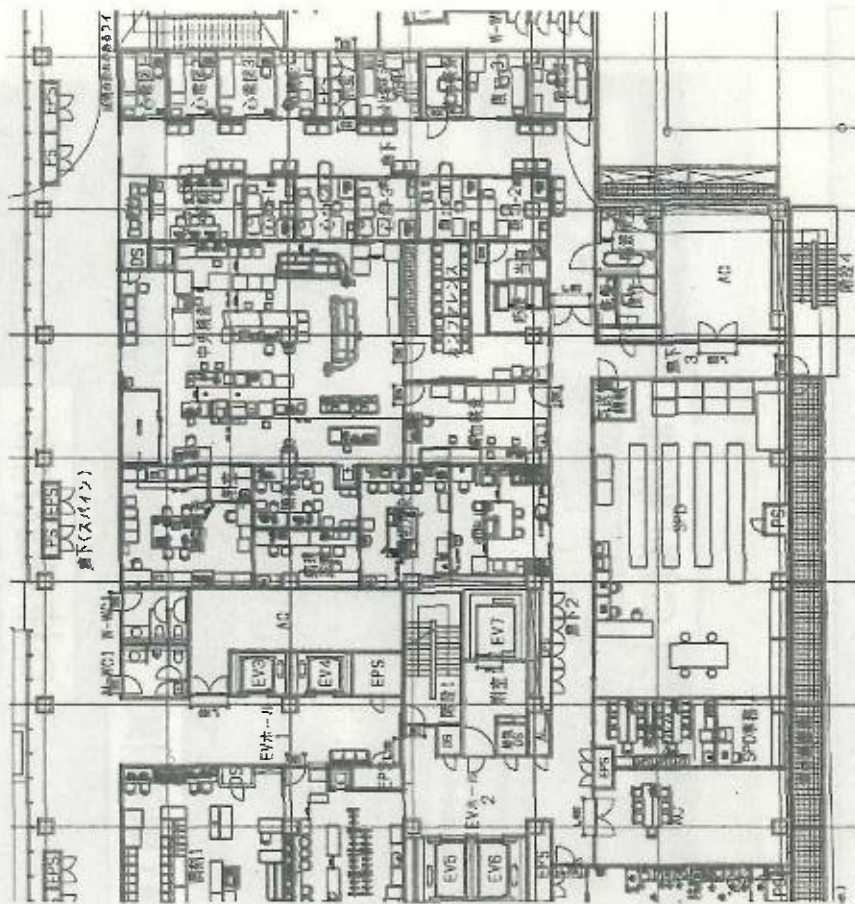


【参考2】基本設計と比較した実施設計のイメージ

基本設計



実施設計



新病院の実施設計の進捗状況(1)

1. 新棟(F棟及びG棟)の新築

- 7月16日、履行期限を10月15日に設定しました。
- 次に掲げる理由に基づき、事業者とセンターとの協議を経て、10月10日、履行期限を11月29日に延長せざるを得ませんでした。
 - ① 各室のレイアウトについては、事業者において、詳細を検討する前提として、センターにおいて、診療の現場に支障を生じないよう、各診療科等の医師、看護師等の意見を聴きながら、様々な条件を提示します。そのための調整に相当な時間が必要となりました。
 - ② 近隣の住民の皆様の見解等に配慮し、上空通路の位置を変更しました。これに伴い、1～4階のレイアウトを修正することが必要となりました。
 - ③ 消防本部と調整する過程で、救急車両の進入や救急患者の搬送のための動線を変更しました。これに伴い、1～3階のレイアウトを修正することが必要となりました。

新病院の実施設計の進捗状況(2)

- 10月16日、センターより、市に対し、10月15日現在の進捗状況を報告しました。
 - ① 配置図、平面図、立体図及び断面図は、作成済みです。
 - ② 構造並びに電気、空調及び給排水衛生の設備に関する詳細な図面は、作成中です。
 - ③ 一定の条件に基づく最短の工事期間は、算定済みです。
 - － F棟(上空通路を除く。) : 14か月程度
 - － G棟(上空通路を含む。) : 17か月程度

2. 既存棟(A棟、D棟及びE棟)の改修

- 7月16日、履行期限を(平成26年)3月15日に設定しました。
- 新棟の新築に関する実施設計が完了した後、速やかに、既存棟の改修に関する実施設計に着手する予定です。

現時点での今後の見通し(1)

1. 新棟の新築

(1) 工事の発注

- 実施設計が完了した段階で、具体的なスケジュールを明らかにする予定です。
- 少なくとも、2か月程度の期間が必要です。
 - ① 公示
 - ② 現場説明会の開催
 - ③ 質疑に対する応答
 - ④ 入札及び見積書の提出
 - ⑤ 見積書の確認
 - ⑥ 契約の締結
- 昨今、東海地方を含む全国において、病院の建設に関する入札が不調となる事例も、相次いでいます。そのような中で、今般の新病院整備事業についても、入札の成否は、予断を許さない状況にあります。

現時点での今後の見通し(2)

(2) 着工及び竣工

- 入札が成立した段階で、具体的なスケジュールを明らかにする予定です。
- 仮に入札が順調に成立した場合には、一定の条件に基づく最短の工事期間を前提とすると、
 - ① F棟及びG棟の着工が平成26年2月頃
 - ② F棟(上空通路を除く。)の竣工が平成27年3月頃
 - ③ G棟(上空通路を含む。)の竣工が平成27年6月頃となる見込みです。

(3) 機器等の搬出入

- 入札が成立した段階で、具体的なスケジュールを明らかにする予定です。
- 少なくとも、
 - ① F棟にあっては、1か月程度
 - ② G棟にあっては、2～3か月程度の期間が必要です。

2. 既存棟の改修

- 平成25年度中に、実施設計が完了する予定です。その一環として、工事期間を算定する予定です。
- 次のとおり、具体的なスケジュールを明らかにする予定です。
 - ① 工事の発注:実施設計が完了した後
 - ② 着工及び竣工:入札が成立した後
- 工事中にも、診療機能が全体として維持されるよう、基本的には、新棟の新築に関する工事が完了した後、既存棟の改修に関する工事に着手する予定です。

(注) 新病院整備事業が可能な限り早期に完了するよう、実施設計に際しては、既存棟の改修に関する工事のうち、新棟の新築に関する工事と同時並行的に実施することが可能である部分について、精査する予定です。

現時点での今後の見通し(4)

3. 新病院の開設

(1) 新棟

- 入札が成立した段階で、具体的なスケジュールを明らかにする予定です。
- 仮に入札が順調に成立した場合には、一定の条件に基づく最短の工事期間を前提とすると、医療法の規定に基づく病院の変更の届出をするのは、次のとおりとなる見込みです。
 - ① F棟(上空通路を除く。) : 平成27年4月頃
 - ② G棟(上空通路を含む。) : 平成27年秋頃
- G棟(上空通路を含む。)の供用が開始されないと、G棟のCT、MRI等を外来診療のために利用することができません。その間、F棟で提供される外来診療を一部に限定せざるを得ません。

現時点での今後の見通し(5)

(2) 既存棟

- 入札が成立した段階で、具体的なスケジュールを明らかにする予定です。

4. 旧病院の廃止

(1) 閉鎖

- 新棟の新築及び既存棟の改修に関する入札が成立した段階で、具体的なスケジュールを明らかにする予定です。
- 工事中にも、診療機能が全体として維持されるよう、旧病院から新病院への診療機能の移転及び新病院における診療機能の整備が完了した時点で、医療法の規定に基づく病院の廃止の届出をする予定です。

現時点での今後の見通し(6)

(2) 解体

- 旧病院の閉鎖が完了した後、旧病院の解体に着手する予定です。
 - ① 桑名東医療センターについては、センターにおいて、B棟及びC棟を解体する予定です。
 - ② 桑名西医療センターについては、センターにおいて、「桑名西医療センター跡地活用検討委員会」を開催し、近隣の住民の皆様の意見を聴くとともに、市と協議しながら、建物を解体して土地を処分する方法を検討する予定です。
 - ③ 桑名南医療センターについては、市において、建物を解体して土地を地権者に返還する予定です。

(注) 旧病院の解体のための経費については、平成27年度予算の編成の過程で精査する予定です。

新病院整備事業費に関する債務負担行為の見直しの内容

平成23～26年度：141.0億円

平成23～27年度：141.0億円



(注1) 各計数は、職員用の立体駐車場の建設に係る保証金(1.0億円)並びに建物補償費用(1.0億円)、営業補償費用(0.1億円)、テナント解約費用(0.0億円)及び境界調査費用(0.0億円)を除く。
 (注2) 合計の計数が各年度の計数の総和と一致しないのは、各年度の計数について、それぞれ、少数点第2位以下を四捨五入し、端数を処理したためである。

以上のとおり、新病院の開設については、平成27年4月以降、段階的に進める予定です。



平成25年10月5日「桑名地域医療再生シンポジウム」

今後とも、新病院整備事業に対する御理解と御支援をお願い申し上げます。